栗東市立葉山東小学校　学校だより　No.２　令和６年４月２６日　児童数５４２名

若葉のしらべ

学校教育目標：「心豊かで　主体的に学ぶ子どもの育成」

めざす子ども：はつらつとした笑顔とあいさつ　やり抜く粘り強さとあたたかい心　まわりの人と考え合い高め合う
ひとも自分も大切にする　がっこう・友だち・地域も大好き　しゃかいで生きる力を伸ばす　わかばっ子

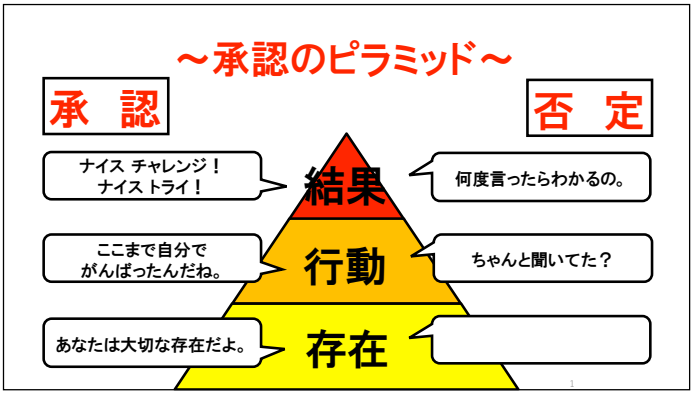
「承認の言葉がけで子どものやる気を引き出す」

校長　安岡　寛

新学期が始まり一ケ月が経とうとしています。学校は子どもたちの元気な声と笑顔にあふれ、活気に満ちています。「学校は子どもたちの居場所なんだ」と実感する毎日です。

さて、右の図中央にある三角形は、「承認のピラミッド」と呼ばれるものです。上が「結果」、真ん中に「行動」、底には「存在」となっています。

皆さんは子どものどの部分に、どのような言葉をかけておられるでしょうか。



「何度言ったらわかるの。」や「ちゃんと聞いてた？」は子どもの行動に対する結果や行動そのものを否定する言葉がけ。敢えて空欄にしている存在を否定してしまう言葉をかけてしまうと、子どもは自分の居場所をなくしてしまうと思いませんか。

対して「承認の言葉がけ」を読むと、元気とやる気が出てくる気がするのは、私だけではないと思います。がんばった行動の過程を認めたり、うまくいかなくても挑戦したことを認める「ナイスチャレンジ!」という言葉をかけたりすることで、子どもは次への意欲をもちます。なかでも、「あなたは大切な存在なんだよ。」と大好きな大人から言われたときの子どもの安心感は、大きいに違いありません。

真逆のように感じる承認の言葉がけと否定の言葉がけ。この二つには共通点があります。それは、どちらも「子どものためを思って言っている」ということ。でも、子どもために言っているとはいえ、子どもの受け取り方と言葉の与える影響は大きく異なります。

子どものためを思うなら、承認の言葉がけをしませんか。承認の言葉がけは、子どものやる気を引き出します。そして、続けることで、子どもの表情が変わり、行動が変わっていくと考えています。

子どもたちに育みたい非認知能力①「非認知能力とは」

認知能力とは、読み・書き・計算など点数にできるものです。対して、非認知能力は、「認知能力に非ず（あらず）」と書きます。テストなどで客観的な点数にできない、ねばり強くがんばろうとする「忍耐力」や、もっと成長したいと思う「向上心」、友だちと折り合いをつけていく「協調性」などのことです。

こうしたことは、これまでの教育や子育てで大切にされてきた「心」の部分です。私たち教職員は、心の部分である「非認知能力」を育むことを意識しながら取り組んでいます。

5月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
4/28	4/29	4/30	1 個別懇談会 (13:15 下校)	2 個別懇談会 (13:15 下校)	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7 個別懇談会 (13:15 下校) 内科検診5年 AM	8 個別懇談会 (13:15 下校)	9 個別懇談会 (13:15 下校)	10 1 年生を迎える会②さわ東タイム 個別懇談会 (13:15 下校)	11
12	13 人権の日 (さわ東タイム) クラブ⑥	14 1 年 耳鼻科検診 ALT ハリス先生来校 (5･6年)	15 1 年お話会③	16 体力テストAM (ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ投げ)	17 体力テストAM (ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ投げ) わかば相談	18 弁当日(牛乳なし) 学習参観② 全校 5 時間授業 引き渡し訓練 (1 年生) 14:10下校 (2~6年生) 1 年生 5 時間授業スタート
19	20 振替休業日	21 検尿2次1日目	22 検尿2次2日目	23 交流指導開始 (2~6年生)	24 2年自然観察の森AM	25
26	27 委員会⑥ 教育相談週間 (~6/7) 諸費振替日 歯科検診 1~3年	28 歯科検診 4~6年	29	30 交流指導 4年校外学習 (環境センター・びわ湖ホール)	31	

個別懇談会期間(5/1~5/10)の日課について

8:35~ 9:20	1校時
9:25~10:10	2校時
10:10~10:25	中休み
10:30~11:15	3校時
11:20~12:05	4校時
12:05~12:45	給食
12:45~12:55	そうじ
13:15	下校完了
14:00	個別懇談会スタート

4月9日発行の学校だよりでお知らせしていた6年生の修学旅行の日程ですが、事情により、
12月12日（木）~13日（金）
に変更となりました。